

12月20日 待降節第4主日

喜び躍る

ルカによる福音書 1章 39～45節

³⁹ そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。⁴⁰ そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶*あいさつ*した。⁴¹ マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリサベトは聖霊*せいれい*に満たされて、

⁴² 声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。⁴³ わたしの主*しゅ*のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。⁴⁴ あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。」

他の朗読：ミカ 5：2～5 詩編 80：2, 3, 15, 16, 18, 19 ヘブライ 10：5～10

Lectio…読む

天使ガブリエルから、彼女の親類であるエリサベトの予期せぬ妊娠（ルカ 1章 36節）の驚くべき知らせを受けて、マリアはエリサベトを訪ねるために準備し、出かけて行くのにぐずぐずしてはいませんでした。今度はマリアのほうが、自身についての驚くべきニュースを携えているのです。

多くの神の知らせと行いによって、その真意が関わっている個々人にゆっくりと現れ始めています。アブラハムの妻サラは年老いて母親になると聞かされたときに笑いました（創世記 18章 12節）。エリサベトの夫ザカリアは疑い、エリサベトの妊娠中、口が利けなくなりました（ルカ 1章 18～20節）。マリアは自身が疑いや不安に襲われようとも、「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように」と、神の望みを素直に受け入れました（ルカ 1章 38節）。

マリアがエリサベトのもとへ到着し、声高らかに挨拶が告げられたとき、驚くべきことが起こります。エリサベトの子がおどったのです。彼女はその頃すでに赤ちゃんが動くことに慣れていたことでしょう。さらに驚くべきことは、聖霊がこの胎動を引き起こした、ということです。聖霊に満たされたエリサベトはマリアが主の母親であると「認識して」それを宣言し、この役割において彼女を祝福するのです。

この短い部分はしばしば「聖母訪問」と呼ばれています。マリアが単にエリサベトを訪問しているのではなく、イエスが初めて「自身の民」を訪問しているのです。エリサベトの胎内にまだ隠れているヨハネは、イエスを救い主であると認識し、純粋に喜びおどりました。

もうすぐ母親になるふたりと、彼女らが抱えていた赤子達にとって、なんという貴重な出会いであったことでしょうか。お互いにとって、どれだけの励みだったのでしょうか。マリアの信仰は、大変な力があったのでしょうか。エリサベトがマリアを祝福している間、彼女はマリアに天使ガブリエルの言葉をこだまさせています（ルカ 1章 28、30～33節）。

Meditatio…黙想する

マリアが親類エリサベトを訪問する前と後において、どのように感じていたか考えてみましょう。一方の長い間子供のいなかったエリサベトには素晴らしい知らせがありました。祭司ザカリアの妻エリサベトは、マリアの知らせをどう受け取るでしょうか。彼女はマリアを信じるのでしょうか、もしくはマリアを避けるのでしょうか。

聖霊に満たされてエリサベトは、マリアを待望されている救い主の母とはっきり宣言しました。マリアはこれらの言葉をどう感じたのでしょうか。今日の箇所が続きに大きな手がかりがあります。（ル

カ1章46～56節)

エリサベトとマリアを導いた聖霊の役割について考えてみましょう。聖霊があなたを導いてくれた経験がありますか。それらの出来事で何を覚えているでしょうか。

Oratio…祈る

詩編80編は、イスラエルの国家を再建してくれることを神に願う心からの嘆願です。詩編作者に加わり、忠実な羊飼いである神に、あなたの知っている人の中で彼に従っていない人を助けてくれるように願いましょう。

あなたの国の人々の頑な心が神に向くように、神に願いましょう。私たち自身の心もある部分で柔和になる必要があるかもしれません。神は私たちに、石の心を除き、肉の心を与えてくれると約束してくれました(エゼキエル11章19節)。

神に聖霊の導きを意識させてくれるように助けを願い、そして神の促しに従う信仰と勇気を願いましょう。

Contemplatio…観想する

神はしばしば羊飼いとして描かれます。神があなたをどのように個人的に導いているのか、そして神の導きを受け入れたとき、全世界はどのように変化するか、観想してみましょう。

イエスに与えられた称号である、「平和の君」について黙想してみましょう。

ミカの預言は、イエス誕生の約700年前に与えられたものです。イエスの誕生を預言したのは、彼だけではありませんでした。エレミヤもその150年後に告げています。私達はそのエレミヤの言葉を3週間前の日曜日に読みました(エレミヤ33章14～16節)。ミカの預言を深めてみましょう。あなたにとってどのような意味があるでしょうか。